

# 2022. 12月 女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

## 「ものにする！チャレンジ③」

2022年も最終月になりました。値上げラッシュで家計のやりくりを頭を悩ますわたしたちですが、一般生活者の底力を発揮して、明るく年を越していきたいものです。

さて、今年締めくくりの『チャレンジ再発見一思いのほかあなたを拓くアプローチ』は、9月から続けた「眼力利かせ、姿勢保ち、〈ものにする〉チャレンジ」の3回目、結びの回です。女性に限らず、人が〈世にでる〉と興味本位で寄ってくる人もいれば、時に長いお付き合いをする相手、顧客に出会うこともあります。日本経済新聞文化面の『私の履歴書』は企業経営者をはじめ、さまざまな分野の著名人がひと月連載しますが、それを読むと、人の履歴は、人との出会いの履歴なのだとわかります。ある人との出会いが飛躍にきっかけになった、等です。

意を決してチャレンジに足を踏み入れたものの、自分の想いや活動のテーマをなかなか人にわかってもらえない中で、もし真に受けとめる人に出会ったら、それはかなり貴重なことです。ですからその見極めが大事。「わかる、わかる」と軽々しく同調される場合は要注意です。むしろ目を細め、何かを探り当てようとするような感じで、質問してくる人の方が、あなたの中の〈宝物〉を感知しているもの。あなた独自の考え、問題意識、姿勢などの〈宝物〉を、です。

そういう人に出会ったら、顧客にあたる人であってもなくても、大切にしていきます。やたらにアプローチする必要はありません。あまりに〈押す〉が過ぎると、人は〈引く〉ものです。貴重なものを感じ

じたその想いを心にとめます。そして書きとめておきましょう。いつ、どこで、どのような経緯で出会い、会話の中で印象的だったことなどから、自分は何を感じ、考えたかを書くことが大事。しだいに励みや勇氣、意欲がみなぎってくるはずですよ。

しばらくして、やはり自分の感じたことを相手に伝えたいと思えば、そうしましょう。相手の印象から人柄を想像し、それに適した手段を選びます。すでに活動を始めている人なら Web サイトや SNS で情報発信はしているはずですから、相手がそれをチェックしていることは考えられます。その上でどうすれば、自然にスマートに伝えられるかを考えます。

もしメールがいいと判断したら、言葉は厳選して、文は短く、貴重な出会いに感じ入ったことを清々しく書く。紙のハガキや手紙に手書きするのも選択肢の一つですが、そういった習慣があればの話です。あるいは直近に何か催しを予定しているなら、その案内がたら、というのも一考です。ただし、押しつけがましいのは控えましょう。

先々どのような関係性になるか想像はできないでしょうし、実際どうなるかはわかりませんが、あなたの姿勢と努力によって、かけがえのないお付き合い、顧客になる可能性もあります。そういった事例は少なくありません。いかがでしょう、やる気が湧いてきましたか？やる気が湧いてきて、チャレンジに前向きになってきたなら、ぜひ『女性チャレンジ応援拠点』をご利用ください。スタッフ一同、〈ものにする〉チャレンジを後押しいたします！

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階  
電話&ファックス：06-7659-9640  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp  
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ~ 12:30	18:00 ~ 20:00	13:00 ~ 15:00	10:30 ~ 12:30	13:00 ~ 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

